学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2024年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	フォトグラフ		（ NGM11I ）
講義名（コード）	フォトグラフ		（ NGM11IX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	長谷川　胖	時間数	30
成績評価教員	長谷川　胖	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	あたりまえの写真がマーケティングの中でどんな役割をしているかに気づいてもらう。
全体の内容と概要	写真の基礎・フォトグラフって・写した写真と写っちゃた写真、お互いが解り合える答えをみんなで考えてみよう。
授業時間外の学修	目に入る写真・映像などが伝えるメッセージを考える
履修上の注意事項等	盗撮・撮影許可・権利関係の注意

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	写真の目的・記録から表現へ	写真って何なに？　みんなで考えてみよう。
2	観察力疑問を持つことが発想力に大事なこと	人は目で見ていると思うが実は脳で見ている。クロスモーダル現象？
3	写真に絶対かせない事	画角・構成・アングル・露出・色相
4	写真撮影に執拗な事-1	レンズの仕組み　・焦点距離・被写体深度・フォーカス(ピント)
5	写真撮影に執拗な事-2	写真は光が無くては成立しない。 光をコントロールする
6	写真撮影に執拗な事-3	写真撮影に知っていて損はない事　応用できる基礎知識
7	基礎と応用-1	照明から考える写真・表現に使える撮影テクニック
8	基礎と応用-2	実践-1　光源と影
9	基礎と応用-3	実践-2　ライティング 色温度 輝度・照度 色相・彩度・明度・コントラスト
10	応用-1　(Adobe Photoshop)	実践-3　センサーサイズと画素数 有効画素数 画像形式・RAWデータの扱いとソフトウエア カラーマネジメント ヒストグラムとトーンカーブ
11	YouTube・Instagram・TikTok	YouTube・Instagram・TikTokによるメディア革命　個人のメディア化　個人とコンテンツ　個人誰でもクリエイター　ヴィジュアル前提の発信etc.
12	応用-2習った事が理解出来てるか	実践-4　課題をロケで撮影
13	応用-3習った事が理解出来てるか	人に見せる写真・デザイン・レイアウト
14	総論-2制作物の難しさ	制作物を制作するにあたって一番大事なのは『メッセージ』
15	実技-1映像の奥深さに興味を持ってもらう	コンセプト・チェレンジ・成果

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	実際の制作物のサンプルとその行程資料
備考	ストロボ・ホリゾント・1眼レフカメラ・

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Web経営Ⅰ		（ NGM10G ）
講義名（コード）	Web経営Ⅰ		（ NGM10GX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	ryui	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義、作業

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	webを活用した組織運営、事業運営について学び、webの世界で活動する方法を理解する。
全体の内容と概要	物語の設定と実践を行う中で、基本的な概念や考え方を学ぶ。実際にオンラインのコミュニケーションやチームワークを行う
授業時間外の学修	オンラインの活動
履修上の注意事項等	パソコン、スマホのどちらでも作業ができるように練習する

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	物語をつくろう	webの歴史、経営の説明ができる
2	登場人物、舞台を設定する	チームづくりの設定ができる
3	登場人物を具体化する	チームメンバーの個性を理解できる
4	舞台を詳細に設定する	経営環境の状況を把握し、見通しを立てることができる
5	冒険1を計画しよう1	小さな課題を設定することができる
6	冒険1を計画しよう2	短い期間の経営計画を立てることができる
7	冒険1に出かけよう1	SNSの投稿、リアクションができる
8	冒険1に出かけよう2	SNSの投稿、リアクションができる
9	冒険1の結果をまとめよう	課題実践の振り返りができる
10	Web世界の状況を理解しよう1	webの変化を理解し説明できる
11	Web世界の状況を理解しよう2	webの変化を理解し説明できる
12	物語を修正しよう	講義最初に設定した内容を評価修正できる
13	冒険2を計画しよう1	課題を設定することができる
14	冒険2を計画しよう2	経営計画を立てることができる
15	前期まとめ	前期の学習内容を説明できる

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	AIは作業プロセスの中で積極的に活用する

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	パソコン検定対策Ⅰ		（ NGM10K ）
講義名（コード）	ビジネスコンピューティングⅠH		（ NKT13LH ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内　玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内　玲子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Windows11でのパソコン操作、Microsoft Office2021の基礎を習得する 基本的なビジネス文書の作成、プレゼンテーション資料の作成ができる
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	操作環境がない学生がほとんどだと思いますので、メニューの操作方法、文章の構成など テキストや授業時配布されたプリントで復習してください
履修上の注意事項等	資格取得の意欲のある学生には、資格試験（MOS・日商PC検定）の練習もおこなっていきます

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Windowsの基本操作ができる タッチタイピングを覚える	教室の使い方、注意、システムの説明・Windows11の基本操作 タイピングソフトを利用したタイピング練習
2	Wordを起動し保存・終了・文字入力の 基本操作ができる	Wordの基礎・文字入力（ファンクションキー変換・IMEの使用・記号の入力） 短文入力
3	Word ページ設定・編集機能の利用ができる	ページ設定・編集機能　複写・削除・移動の利用
4	PowerPointの基礎操作ができる	PowerPointの概要、起動、新規作成、画面構成確認、入力、保存 （スライドの挿入、箇条書き、図形の挿入、表作成、図の挿入）
5	PowerPoint　スライド、挿入した オブジェクトの編集ができる	書式設定、箇条書きの変更、図形の変更、表の編集、図の編集
6	PowerPoint　スライドショーの実行 ブラッシュアップ機能が操作できる	テーマ、アニメーション、スライドショー、スライドの印刷設定 スライドマスターを使ったテンプレートの変更方法
7	Word　社内・社外文書を理解し 表の作成・編集ができる	ビジネス文書（社内文書・社外文書）の入力 配置・箇条書き・フォントの変更・表の作成・編集
8	Word　表の入った文書を作成できる 表の編集ができる	例題文書作成→書式の変更（社内文書の配置確認・切り取り線の作成など） 例題文書作成→表の編集（社外文書の配置確認・表の作成、編集など）
9	Word　オブジェクトを操作できる	画像・テキストボックスの入った文書作成 （ワードアート・画像・テキストボックス挿入）
10	Word 文書に合わせた画像の操作ができる	画像の入った文書作成 表の操作確認・図形の入った文書作成
11	復習　Word	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成
12	復習　PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したスライド作成
13	復習　Word・PowerPoint	テスト前練習問題 すべての機能を活用したビジネス文書作成・スライド作成
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストＦＢ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスター　Office2021
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント
備考	タイピング練習ソフト（MIKA TYPEほか）

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webデザイン Ⅰ		（ NGM11A ）
講義名（コード）	Webデザイン Ⅰ		（ NGM11AX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	デザインルームエム（水野・寺島）	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム（水野・寺島）	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Webの基本的な仕組みとHTMLとCSSの基礎を学び、シンプルなWebページが作成できるようになることを目指します。
全体の内容と概要	Webデザインの導入として、Webの基本的な仕組みから始め、HTML・CSSの基礎を段階的に学びます。実習を通じて基本的なWebページ制作スキルを身につけます。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Webデザインの全体像を理解できるようになる	インターネットの基本的な仕組みとWebデザインとは何かを学び、Webデザインに必要なスキルを理解します
2	Web制作に必要な環境とツールを理解し使用できるようになる	ブラウザの仕組みを理解し、適切な開発環境を整えます。テキストエディタの設定や基本的なファイル管理を学び、公開までの流れを習得します。
3	HTMLの基本構造を理解できるようになる	HTMLの概念と基本構造を学び、head・bodyタグの役割を理解します。文字コードや言語設定、メタタグの重要性についても習得します。
4	基本的なテキスト関連タグを使いこなせるようになる	見出しタグh1-h6や段落タグpの使い方を学びます。em・strongでの強調表現や、br・hrを用いた改行や区切りの方法も習得します。
5	リストとリンクの構造を理解し実装できるようになる	ul・ol・dlを使ったリストの作成方法を学びます。さらに、aタグの基本や属性を理解し、適切なリンクの設定方法を習得します。
6	画像と表の挿入方法を習得し、実装できるようになる	imgタグの挿入方法や属性、画像フォーマットの違いを学びます。table・tr・th・tdを使った表の基本を理解します。
7	CSSの基本と文書への適用方法を理解できるようになる	CSSの概念と適用方法を学び、インライン・内部・外部スタイルの違いを理解します。セレクタの基本や、プロパティと値の書き方を習得します。
8	CSSを使ってテキストと色のスタイリングができるようになる	CSSを使ってテキストについての設定を学びます。テキストの色や背景色の指定、配置や装飾方法を理解し、視認性の高いデザインを習得します。
9	CSSボックスモデルの概念を理解し活用できるようになる	CSSボックスモデルの構造を理解し、余白の使い方を学びます。ボーダーのスタイリング方法を習得し、レイアウト調整を行います。
10	背景設定の方法を習得し、実装できるようになる	CSSを使った背景色や背景画像の設定方法を学び、画像の位置や繰り返しの調整も理解します。
11	Web標準とセマンティックHTMLを理解できるようになる	Web標準の重要性とセマンティックHTMLの概念を学びます。構造化タグを使い、ドキュメントを意味のある形で構造化する方法を習得します。
12	Webアクセシビリティの基本概念を理解できるようになる	Webアクセシビリティの基本を学び、障害の種類や支援技術について理解します。シンプルなアクセシビリティチェックを実践します。
13	シンプルなWebサイトの設計ができるようになる	Webサイトの目的とターゲットを設定し、簡単なワイヤーフレームを作成します。ファイル構成やフォルダ構造を計画し、作成します。
14	設計に基づいたHTMLコーディングができるようになる	ページのHTMLコーディングを行います。適切なタグを選び、構造化を意識しながら、アクセシビリティにも配慮したコーディングを学びます。
15	基本的なCSSスタイリングを適用できるようになる	CSSを使った基本的なスタイリングで全体の統一感を実現し、制作物を発表して相互評価を行います。前期の振り返りを行います。

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webリテラシー Ⅰ		（ NGM11C ）
講義名（コード）	Webリテラシー Ⅰ		（ NGM11CX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	水嵜　歩実	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	WEBビジネスをするうえで使用するWEBツールを把握し、基本の用途や使い方を知る
全体の内容と概要	WEBビジネスにおいてよく使われるサービスや用語、各サービスの概略を知り、実際に触れて使い方を体験し、スキルを習得します。
授業時間外の学修	ツールを使用するうえで、必要なデータや写真の収集・取材等をお願いすることがあります。
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	PCスキル・WEB検索等の基礎能力が十分であり、授業で取り扱ったWEBサービスの使用方法を理解したうえで利用できている		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	本授業の概要と、アカウント管理の基本がわかる	この授業で目指していくことを把握し、すべての基礎となるアカウントとその管理方法について学ぶ。また、実際にGoogleアカウントの作成を行う。
2	グループウェアの役割と使い方がわかる	グループウェアに付いて学び、サービスごとに違いを比較したうえで導入するサービスを決定する。使用する上でのルールを作成する。
3	WEBメールとクラウドサービスの概要がわかる	WEBメールとクラウドストレージについて学ぶ。GmailとGoogleDrive等を使用して、共同編集とファイル共有を行う。
4	タイピングの基本と習慣化するための方法がわかる	WEBビジネスの基礎中の基礎となるタイピングを身につける。タイピング練習ができるWEBサービスを使用する。
5	生成AIの適切な使用方法と用途がわかる	生成AIについての概要を学び、活用方法を知る。また、実際に生成AIを使用して、文化祭に実施できそうなアイディア出し・ブラッシュアップを行う。
6	ビジネス上でのSNSの使い方と役割がわかる	SNSの概要と種類、特性、個人とビジネスでの用途の違いを学ぶ。また、1年通して実施するSNS実習について概要を把握する。
7	事業でSNSを運用する際の注意点がわかる	地域と連携したSNS事業の実施。事業連携でSNSを運用する際の注意点などを把握した上で、取材計画を立てる。
8	取材に行く際に配慮するべきポイントがわかる	実際に周辺地域に出かけ、注意点や取材先などへの配慮を行いながら、計画に沿って取材を行う。
9	オンラインデザインプラットフォームの使い方がわかる	オンラインデザインプラットフォームを使用して、SNS投稿のコンテンツを作成する。
10	SNSにおいてのキャプション・ハッシュタグの役割がわかる	作成したコンテンツをSNSに投稿する。ビジネス用途でのSNS活用例の確認と、キャプションの書き方・ハッシュタグの付け方について学ぶ。
11	タスク管理の役割と使い方、チームでの使用方法がわかる	オンライン・複数ユーザーでタスク管理を行う方法を学ぶ。また、実際に文化祭までのタスクを作成し、タスクリストとガントチャートを作成する。
12	クラウド共同編集の方法と企画書の必要性がわかる	文化祭に向けて出したアイディアを厳選し、Googleドキュメント等を使用して企画書を作成する。また、企画書を作成する目的と必要性について学ぶ。
13	クラウド共同編集の方法と、企画実施に必要な資料がわかる	プロジェクト実施に向け、予算書・企画プレゼンをチームごとに分かれて作成する。また、共有フォルダを作成・管理する方法を確認する。
14	まとめ	前期のまとめ。タイピングスキル・検索スキル・生成AI活用のスキル等を確認する。
15	まとめ	スキル確認を受けて、後期の課題を確認する。また、文化祭に向けて、後期授業で実施するタスクの確認と情報共有・準備を行う。

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	Canva基本＆デザインTIPS！無限に役立つ使いこなしワザ152
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	グラフィックデザイン基礎Ⅰ		（ NGM10E ）
講義名（コード）	グラフィックデザイン基礎Ⅰ		（ NGM10EX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	寺島智子	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネスにおいてクリエイティブ思考を持つ人材が非常に重要で求められています。その思考を磨くために必要な授業で基礎的な知識や技術を身に付け後期の実践授業に活かしていく。
全体の内容と概要	AdobeのソフトPhotoshopとIllustratorの基本的な知識と操作方法を習得し、学業におけるデザイン制作や画像編集スキルを向上させる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	グラフィックとは何かについての講義	すべてのグラフィックの基本や印刷物やWEBデザインについての講義。
2	なぜillustratorとPhotoshopを学ぶのか理解できるようになる。	マーケティングコースなのになぜillustratorとPhotoshopを学ぶのか。CANVAとillustratorの違いなど解説する。
3	Photoshopのセットアップができるようになる。	Photoshoprの初期設定と画面構成の名称を解説し、テキスト練習ファイルのダウンロードをする。
4	Photoshopの基本操作	Photoshopの一番基本となるカラーモードやレイヤーなどの基本操作を覚える。
5	Photoshopの画像編集　1	画像の色調変更や選択範囲などの知識や技術を身に付ける。
6	Photoshopの画像編集　2	画像のレタッチや合成などの知識や技術を身に付ける。
7	Photoshopの画像加工	テキストやオブジェクトなどの加工の仕方を身に付ける。
8	Photoshopの統括	Photoshopを使ってWEB用バナーを作る。
9	illustratorのセットアップができるようになる	illustratorの初期設定と画面構成の名称を解説し、テキスト練習ファイルのダウンロードをする。
10	illustratorの基本操作	ツールとパネル、メニューで何ができるか、操作の取り消しとファイルの保存を解説する。
11	基本図形とベジェ曲線（パス）	着色した四角形や円、三角形を組み合わせて一つの絵を描く。下絵をなぞる練習をして基本的な操作を身に付ける。
12	カラーとテキスト	色の変え方やグラデーションやスウォッチについての説明とテキスト編集について基本的な操作を身に付ける。
13	変形、加工や画像の配置	オブジェクトの変形、加工やPhotoshopで加工した画像を配置してみる。
14	illustratorの統括　1	illustratorとPhotoshopの総合演習として店頭POPを制作する。
15	illustratorの統括　2	前回の続きで店頭POPを自分なりに加工編集して完成させる。

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『デザイン初心者のためのPhotoshop Illustrator 先輩に聞かずに9割解決できるグラフィックデザイン超基礎』インプレス　講師と生徒全員の配布をお願いします。
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	IT検定対策Ⅰ		（ NGM11M ）
講義名（コード）	IT検定対策Ⅰ		（ NGM11MX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小松一雄	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ITパスポート試験の意義、位置付けを理解させ、合格への動機づけを行う。 コンピュータやネットワークの基礎知識を学び、実務に生かすことを目指す。
全体の内容と概要	コンピュータ(HW/SW)やネットワークに関する基礎的な知識やその原理について習得する。 DXやITに関するホットな話題について取り上げ、現在の技術動向について理解を深める。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	期末テストを実施し、その点数を評価基準に用いる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ITパスポート試験合格の心構えを創る	自己紹介・授業内容の説明・ITパスポート試験攻略の実践目標の設定
2	コンピュータに係わる数学について理解する。	二進数・集合と論理演算・確率・順列・組合せについて説明する。
3	情報量の概念やアナログとデジタルの違いについて理解する。	情報量、アナログとデジタル、マルチメディア、ファイル形式など、コンピュータ技術の基礎について説明する。
4	コンピュータの構成要素について理解する。(Ⅰ)	コンピュータの五大機能について説明する。
5	コンピュータの構成要素について理解する。(Ⅱ)	オペレーティングシステムとファイルについて説明する。
6	コンピュータへの指示の出し方について理解する。	プログラミング、疑似言語について説明し、演習を行う。
7	職場におけるコンピュータの使われ方を理解する。	信頼性を上げるコンピュータの構成、仮想化、稼働率などについて説明する。
8	コンピュータのしくみに関する理解力をつける。	コンピュータのしくみに関する過去問の演習を行う。
9	ネットワーク、インターネットの基本について理解する。	インターネットのしくみ、無線LAN、OSI参照モデルについて説明する。
10	ネットワーク下位層について理解する。	データリンク層、ネットワーク層、トランスポート層について説明する。
11	ネットワーク上位層について理解する。	アプリケーション層(メール、Web、DNS)について説明する。
12	ネットワークに関する理解力をつける。	ネットワークに関する過去問の演習を行う。
13	コンピュータやネットワークに関する理解力をつける。	前期講義内容について、弱点強化のための集中講義を行う。
14	期末テスト	期末テストの実施
15	期末テストのフィードバック	期末テストの問題について、解答を解説する。

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ITパスポート合格教本
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネスプレゼンテーションⅠ		（ NGM11O ）
講義名（コード）	ビジネスプレゼンテーションⅠ		（ NGM11OX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	堀内　美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内　美穂	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	人前で自分の考え、主張を述べることができる。わかりやすく言葉で人に伝える技術は、将来どのような業種の仕事についても役に立つ。
全体の内容と概要	あるテーマについて原稿を作成し何度も発表練習をする。ただの作文ではなく、聞いている人にわかりやすく、心に響くようなスピーチになるよう話し方の練習もする。
授業時間外の学修	発表練習を何度も行う。
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	スピーチとは何かがわかる	スピーチが行われる場面、目的を考える。　Youtubeでスピーチのビデオを見ながらコツを学ぶ。
2	スピーチ内容の構成が理解できる	スピーチ内容の構成を学ぶ。テーマを選んでスピーチの原稿を作成する。
3	スピーチ原稿を作成できる。	テーマに沿ったスピーチ原稿を作成する。
4	人前でスピーチができるようになる	簡単なテーマに沿ったスピーチをクラスの中で発表する。
5	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
6	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
7	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにする事ができる。	気になるニュースについて自分の意見をまとめたスピーチを行う。
8	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
9	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
10	写真を使った発表を行うことができる。	写真を見せながら短い発表を行う。クラスメートに評価をもらう。
11	国際問題についての発表を行うことができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
12	国際問題についての発表を行うことができる。	問題についてのデータを検索し、グラフ等を使ってわかりやすくPPTにまとめる。自分の意見を交えた問題の解決法を考える。
13	国際問題についての発表を行うことができる。	国際問題についての発表練習を行う。
14	まとめと解説	期末テスト　　プレゼンテーション発表　　評価
15	まとめと解説	期末テスト　　プレゼンテーション発表　　評価

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webマーケティング基礎Ⅰ		（ NKT13R ）
講義名（コード）	Webマーケティング基礎ⅠH		（ NKT13RH ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田達矢	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	WEBマーケティングの意味と役割の理解
全体の内容と概要	前期はWEBマーケティングの役割を理解し実例を共有し、 後期では他の教科と連携、WEBマーケティングを実際に活用してみる。
授業時間外の学修	現状では予定なし
履修上の注意事項等	とくになし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業で教えた専門用語の理解度を確認し、役割や機能についての認知度を評価		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	マーケティングとその役割を知る	生徒にとってのマーケティングをヒアリング マーケティングの意味とマーケッターの役割について説明 これからやることの流れを説明し、マーケティングを意識した生活を提案
2	WEBマーケティングの概要の理解	日々めにするWEBマーケティングの結果を生徒と共有 WEBマーケティングは何をやっているのか？それは何のためなのか？
3	お客様＝ペルソナの理解	自分がお客様として付き合っていることを考える モノ・コト・ヒトでお客様を考えペルソナをイメージする
4	ブランドとブランディングの理解	ブランドとブランディングの違いについて みんなが好きな商品とブランドのつながりを考える
5	ブランディングストーリーの理解	ブランディングの実例紹介 ストーリーを考えるコトがブランディング
6	マーケティングアウトプットを知る	マーケティングの結果をアウトプットすること WEBやSNSでアウトプットすることもWEBマーケティングの大事な要素
7	WEBとSNSの役割の違いを知る	ストック型メディアとフロー型メディアの役割の違い 情報の賞味期限について
8	中間まとめ	前期の折り返しで、今までの授業の振り返りとまとめ
9	WEBマーケティングの方法論を知る	過去～現在の調査分析→仮説→トライアル→結果の調査分析→実践 上記の流れを説明
10	広告・宣伝・広報の違いを理解する	役割と目的の違いがことなる広告宣伝、広報の違いをきちんと説明
11	WEBやSNSの広告について	オンラインの広告の役割の概要を説明 誰に何をどう伝え、どういう結果を得るかを考える
12	WEBマーケティングの実例を知る	国内最大のWEBマーケティングのひとつ東京ディズニーリゾートの場合
13	WEBマーケティングの実例を知る	長野県のインバウンド観光客向けWEBの場合
14	WEBマーケティングの実例を知る	小諸市の老舗旅館の場合
15	前期最後のまとめ	前期後半戦の振り返りと試験について

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	特になし
参考文献・資料等	講師の実際の業務のなかで守秘義務契約に触れない範囲のものを適時提供
備考	NBLさまのWEBのアクセスログの共有をしていただけますでしょうか。

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	動画マーケティング		（ NKT13U ）
講義名（コード）	動画マーケティング		（ NKT13UX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース WEBマーケティングコース/観光ホスピタリティコース	単位数	1
授業担当者	楢原　優輝	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	動画の基礎となる部分を学習し、動画を用いて自身の伝えたいことを表現できるようにする。
全体の内容と概要	映像制作において必要な知識や、動画撮影・編集の基本的な考え方の解説。Premiere Proの操作解説。
授業時間外の学修	映像素材撮影の指示の可能性あり。
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	何気なく視聴している動画に対する意識を変化させる	動画について考えてみよう
2	動画を作ることの意味を理解することができる	動画を観ることと作ること
3	映像制作で使われる表現方法について知ることができる	動画の表現方法を学ぼう
4	撮影に必要な機材の種類やレンズの特性について理解できる	撮影機材のことを知ろう
5	動画制作に関わる法律やルールについて理解することが出来る	映像制作で気を付けるべきこと
6	実際に動画を撮影して学んだことを体感で覚えることができる	動画を撮影してみよう
7	Premiere Proで動画編集するための設定や考え方、UIの見方を知ることができる	動画を編集してみよう1
8	実際に動画を編集し、複数の動画素材を繋げることができるようになる	動画を編集してみよう2
9	テロップや簡単なエフェクトの効果の追加や動画の書き出しができるようになる	動画を編集してみよう3
10	映像の色や音の調整について理解できる	動画を編集してみよう4
11	自分や他の人が作った動画を観て、様々な考え方に触れることができる	完成した映像をみんなで観てみよう
12	Youtubeの規約や権利について理解し動画のアップロードができるようになる	Youtubeにアップロードしてみよう
13	学習してきた内容を再確認する	総復習
14	講義内容の総まとめ 動画提出等	期末試験(動画取り込み～編集・書き出し)
15	総評	テストフィードバック

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	マーケティング基礎Ⅰ		（ NKT13V ）
講義名（コード）	マーケティング基礎ⅠF		（ NKT13VF ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	尾﨑　樹里子	時間数	30
成績評価教員	尾﨑　樹里子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	・日々の生活や行動からマーケティングを考える/企業のマーケティング部門の仕事を知る ・マーケティングの仕組みや特有の言葉を理解して活動意義を探求する
全体の内容と概要	・マーケティングの本質を理解した上で、マーケティング活動の要素を学ぶ ・身近な環境の中でマーケティングの要素を探求し、実習を通じて知識の理解を深める
授業時間外の学修	・自身や、家族、友人の購買行動に関心を持つ ・企業が発信している情報に関心を持ち、マーケティングの要素を発見する
履修上の注意事項等	・実習では積極的に行動する。チームで協力し合って活動する。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	マーケティングとは何かを理解できる	・身近な買い物について考えてみる ・マーケティングの定義や、歴史について学習する
2	マーケティングに関する仕事がわかる	・企業の中のマーケティング部門の仕事について調べてみる
3	顧客の視点の大切さを理解できる	・「売る」ことについて考える ・消費者の行動からニーズとは何かを考え、「顧客」について理解する
4	市場調査（マーケティングリサーチ）を理解して、やり方を理解できる	・市場とは何かを知る。市場調査とはどのような時に、どのような目的のために行うか ・調査方法を学び、実際に情報を取得してみる
5	マーケティングリサーチができる	・自分が購入した製品が属する市場を特定し、市場調査を行ってみる
6	売れるしくみについて：STPを理解できる	・S（セグメンテーション）、T（ターゲティング）、P（ポジショニング）とは何かを学ぶ。
7	STPについて、具体例から理解を深めることができる	・ケーススタディ（事例から、S,T,Pの考え方）
8	マーケティングミックスが何か理解できる	・マーケティングミックス（４P）の概要 ・製品戦略について、商品の分類、ブランディング、製品のライフサイクル
9	価格戦略、流通戦略について理解できる	・価格戦略のアプローチについて。 ・流通戦略の種類、製品との整合性について
10	プロモーション戦略について理解できる	・コミュニケーション戦略 ・プロモーションの種類、効果について
11	顧客関係性について理解できる	・CRM（顧客関係マネジメント）の重要性 ・サービスマーケティング、ダイレクトマーケティングについて
12	上田の商店街や、商店をリサーチしてまとめることができる	・チームで商店街、商店についてリサーチし、取扱い商品、ターゲット、差別化ポイント、競合などをリサーチする
13	リサーチ結果をまとめて、発表できる	・チームでリサーチ結果をまとめ、発表する
14	前期試験	【前期試験】
15	まとめと解説	【前期試験フィードバック】フィードバック

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	夏季休暇　課題図書　「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」
参考文献・資料等	18歳からのマーケティング基礎知識、１からのマーケティング　ほか
備考	なし

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	英語資格対策Ⅰ		（ NKT15C ）
講義名（コード）	英語資格対策ⅠA		（ NKT15CA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野　恵	時間数	30
成績評価教員	高野　恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄	なし	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準2級以上に合格する。
全体の内容と概要	今学期は準2級取得のために必要な基礎固めをするため、文法の復習と単語習得に力を入れる。
授業時間外の学修	「でる順パス単 」から毎週50単語ずつ覚えてくる。
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	単語1～50 準2級の過去問題に挑戦する	準2級の過去問題集を解き、自分の弱点を知る。
2	単語51～100 / 時制・態が理解できるようになる	自動詞・他動詞・完了形・進行形・受動態の確認と練習問題を解く。
3	単語101～150 / 助動詞の働きが理解できるようになる	will/shall/can/ may/must/ would/ shouldの基本的用法を学びながら問題を解く。
4	単語151～200 / 不定詞・動名詞・分詞が理解できるようになる	不定詞と動名詞の働きを学び、慣用表現を覚える。
5	単語201~250 / 関係代名詞が理解できるようになる	関係代名詞の使い方を学び、それに関する問題を解いてみる。
6	単語251~300 比較級が理解できるようになる	比較級を理解し、関連問題を解く。
7	単語301~350 最上級が理解できるようになる	最上級を学び、関連問題を解く。
8	単語351~400 / 現在完了形が理解できるようになる	現在完了を理解し、関連問題を解く。
9	単語401~450 / 前置詞・接続詞が理解できるようになる	紛らわしい前置詞・接続詞を的確に使えるようにする。
10	単語451~500 / 準2級の単語・熟語がわかるようになる	よく出る単語・熟語を学び、過去の穴埋め問題をする。
11	単語501~550 / 必要な語彙・熟語が理解できるようになる	語彙を増やすために派生語・接尾語を覚える。
12	単語551~600 / 語彙・熟語・フレーズが理解できるようになる	語彙や熟語が自分の物となっているか復習テストを受ける。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストＦＢ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検準2級でる順パス単、肘井学のゼロから英文法
参考文献・資料等	英検準２級過去問集（2025年度版)、英検準2級総合対策教本
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	英語資格対策Ⅰ		（ NKT15C ）
講義名（コード）	英語資格対策ⅠB		（ NKT15CB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村　みゆき	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検2級・準１級を取得する
全体の内容と概要	文法を理解し、語彙・熟語・長文・listening・作文の練習問題に取り組む
授業時間外の学修	英単語・熟語を覚える
履修上の注意事項等	試験日に注意し目標をたてる

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	時制・態を理解できる	現在・完了形・進行形・受動態を理解し練習問題をする
2	助動詞の働きを理解できる	will/shall/can/may/must/would/shouldの基本的用法を学ぶ
3	2級・準1級の問題に挑戦し自分の弱点を知る	2級の過去問題集から長文を解き自分の弱点を知る
4	長文の読み方・出題傾向を理解できる	英検長文の特徴を知り時間内に読む練習をする
5	不定詞・動名詞・分詞を理解できる	不定詞と動名詞の働きを学び慣用表現を覚える
6	listeningに慣れる	英検listeningの特徴を知り問題に取り組む
7	英検2級・準1級の単語・熟語を覚える	各級のよく出る単語・熟語を学び過去問題集の穴埋め問題をする
8	2級・準1級の問題に挑戦し達成度を判断できる	過去問題を通して自分の達成度を判断し、これからの勉強法を考える
9	関係代名詞を理解できる	関係代名詞の使い方を学び、それに関連する問題を解く
10	作文を書ける１	文章を書く際の構成を学ぶ
11	作文を書ける２	与えられたトピックを使って自分の意見を書いてみる
12	2級・準1級の問題に挑戦し、自分の弱点を見つける	listening・穴埋め・長文・作文を時間内に行う
13	期末テスト対策	期末テストに向けた復習
14	テスト	
15	テストFB	テストのまとめと解説

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検２級集中ゼミ・英検準1級集中ゼミ
参考文献・資料等	英検２級過去６回問題集・英検準1級過去６回問題集・出るパス単２級・出るパス単準１級
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化理解Ⅰ		（ NKT15G ）
講義名（コード）	異文化理解ＩＧ		（ NKT15GG ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内　玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内　玲子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	グローバル化が進む今日の社会で、ダイバーシティーを尊重し、国際理解を深める
全体の内容と概要	異文化理解の概念や現存する問題などを紹介し、学生自ら考え、グループワーク、 ディスカッション、発表などを行う
授業時間外の学修	日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持ちましょう
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	自己紹介でそれぞれの学生の 文化的背景を理解する	自己紹介、お花見
2	異文化理解はなぜ必要か 異文化理解とは何かを理解できる	文化とは何か、文化による差異を理解する
3	それぞれの学生の国について 地理的な面から学ぶことができる	国ごとのグループに分かれそれぞれ自国について 場所（地形）、人口、気候、首都、などを発表する
4	異文化適応について 理解することができる	カルチャーショック、逆カルチャーショックの体験を話す
5	行動、視点、環境による文化の違い を体験することができる①	行動、視点、環境による文化の違いを考える
6	行動、視点、環境による文化の違い を体験することができる②	発想の転換クイズを行い、柔軟な考え方を養う
7	イメージと固定観念について 理解できる	固定観念、ファイリングという脳のはたらきを紹介し、実例とともに理解する
8	ステレオタイプが理解できる	社会的なステレオタイプを紹介し、イメージを話し合う
9	差別について理解することができる①	差別とは何か？差別の種類、それが生まれる背景について理解する
10	差別について理解することができる②	差別の体験を話し、差別をなくすための方法を考える
11	世界各地の価値観について理解する①	価値観について、それぞれの国での考え方について話し合う
12	世界各地の価値観について理解する②	各地の価値観についての感想と価値観の違いの実体験を話す
13	前期のまとめ	まとめプリント
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	フィードバック

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅠ		（ NKT15K ）
講義名（コード）	キャリアデザインⅠE		（ NKT15KE ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	岩岡　夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡　夏子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会＆面接会参加（WEB含む）
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容を理解し、主体的に取り組む必要性を知ることができる	【オリエンテーション】講師自己紹介、前期の内容について説明、教材配布 【演習】学生による自己紹介 【演習】キャリア面談票の記入
2	基本的なビジネスマナーを知る	【ビジネスマナー】社会人に必要とされるマナーについての理解、非言語コミュニケーション 【演習】学生同士で学んだことを練習
3	就職活動スケジュールが理解できる	【就職活動スケジュールと進め方】就職事情について 【演習】進路活動ハンドブックの使い方、記名、活用方法について
4	キャリアについて理解できる	【キャリアについて】キャリア意識、マインド、社会人基礎力について 【演習】自分が考える「キャリア」について発表 【宿題】メンターを決め、その人の「仕事観」「人生観」をヒアリング
5	レジリエンスについて理解し、自分の強みを発見することができる	【レジリエンス】レジリエンスについての理解、人生曲線の説明と記入 【演習】強みの発見
6	インターンシップについて理解することができる	【インターンシップ】インターンシップとは、企業への連絡、電話の方法 【演習】インターンシップについて検索し、自分がインターンにいく企業を探す
7	自己分析し、自己紹介ができる	【自己分析】長所確認～自己PR 【演習】自己紹介文作成、発表（1分/人）
8	他人の紹介ができる	【他己紹介】友達の長所発見 【演習】友達の長所記入、シェア
9	自己PR書の作成ができる	【自己PR】自己紹介、長所、他者から見た自分の良いところを活用 【演習】自己PR文作成、発表（２分/人）
10	雇用、社会、企業を理解できる	【仕事理解①】仕事の世界、産業と仕事、仕事と資格 【演習】自分の興味のある産業を考える
11	どんな仕事があるかを理解できる	【仕事理解②】職業情報収集について 【演習】自分の気になる仕事について調べる、発表（２分/人）
12	筆記試験について理解できる	【筆記試験対策】筆記試験の種類 【演習】筆記試験の問題を解く
13	与えられた課題についてグループディスカッションができる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいことと、その手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
14	チームワークで課題についてまとめることができる	【ワークショップ】テーマ：「今の日本で変革したいことと、その手法」 【演習】ワークショップ/個別面談
15	前期試験	【前期試験】記述式＋13＆14のプレゼンテーションの総合点で評価

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	留学生：『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク） 日本人：就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	なし
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語Ⅲ		（ NKT24A ）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅢB		（ NKT24AB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野　恵	時間数	30
成績評価教員	高野　恵	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄	なし	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスシーンで使える英語を身につける。
全体の内容と概要	リスニング、特にスピーキングの練習を中心にコミュニケーション能力の向上を図る。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズを復習し、会話文の音読練習をする。
履修上の注意事項等	クラスアクティビティに積極的に参加することが求められます。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	初対面の同僚に自己紹介ができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
2	ビジネスミーティングで自己紹介ができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
3	ゲストを同僚に紹介することができるようになる	実際の場面を想定しながらペアで練習する。
4	1～3回【挨拶】の復習	様々な場面を想定して練習する。
5	留守電にメッセージを残すことができるようになる	留守電にメッセージを残す方法を練習する。
6	電話で伝言を残すことができるようになる	電話で伝言を残す方法を練習する。
7	同僚に伝言を伝えることができるようになる	同僚に伝言を伝える方法を練習する。様々な場面を想定して適する時制を使えるようにする。
8	5～7回【電話】の復習	様々な場面を想定して練習する。
9	空港でチェックインできるようになる	空港でチェックインする方法を練習する。
10	入国審査や税関を通過できるようになる	入国審査や税関を通過する場面を練習する。
11	9～10回【海外出張編】の復習	様々な場面を想定して練習する。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストＦＢ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新装版 即戦力がつくビジネス英会話
参考文献・資料等	英会話フレーズ大特訓ビジネス編、ゼロからスタートしごとの英会話、本当に必要な社内英語、Business as Usual
備考	